



平成30年1月19日
海上保安庁

日印海上保安機関長官級会合・連携訓練の開催について (結果概要)

～インド太平洋地域の海上保安機関間の連携強化のために～

1月15日(月)、中島長官が訪印し、「日印海上保安機関長官級会合」をインド・デリーにおいて開催しました。

17日(水)には、両機関等の船艇・航空機が参加する連携訓練を、インド太平洋地域の海上保安機関職員が視察する中、インド・チェンナイ沖にて実施しました。また、訓練前には蘭浦総理補佐官から激励の挨拶をいただきました。

1. 開催概要

- ① 日印海上保安機関長官級会合
日時： 1月15日(月) 午前
場所： インド沿岸警備隊 本庁内(デリー)
- ② 日印連携訓練
日時： 1月17日(水)
場所： インド・チェンナイ沖

2. 長官級会合への参加者

日本側： 中島 敏 海上保安庁長官 ほか
インド側： ラジェンドラ・シン 沿岸警備隊長官 ほか

3. 長官級会合の結果概要

- 海賊対策に関する情報や知識・技能の共有を実施。
- これまでの長官級会合における議論の結果、今回の連携訓練においてスリランカ・モルディブの日印連携訓練へのオブザーバー参加に結びついたことを評価。
- 昨年実施した人的交流を評価し、両機関の連携・協力の重要性を双方確認。

4. 連携訓練概要

海賊対処にかかる情報伝達訓練から追跡捕捉、停船移乗訓練等の一連の流れを実施し、航空機を使用した被害者救助訓練及び相互離着船訓練についても実施。

当庁からは、第一管区函館海上保安部所属巡視船つがる、同船搭載艇及び搭載機（回転翼1機）が参加。インド沿岸警備隊（ICG）等からは、巡視船艇10隻、航空機8機（固定翼3機、回転翼5機）が参加。また、スリランカ沿岸警備庁及びモルディブ沿岸警備隊がオブザーバーとして参加。

巡視船つがるのチェンナイ寄港にあわせ、インド沿岸警備隊が捜索救助訓練を開催し、セーシェル、バングラデシュ、フィリピン、オーストラリア等15カ国からの参加者が本訓練を視察。

平成12年以来の日印海上保安機関間の取組みが広がりを持ち、インド太平洋地域の更なる連携協力を繋がることに期待。

	
<p>長官級会合</p>	<p>蔭浦総理大臣補佐官激励（つがる船上）</p>
	
<p>火災船（海賊被害船）消火訓練</p>	<p>訓練を視察する両長官</p>
	
<p>相互離着船訓練（ICG ヘリがつがるに着船）</p>	<p>フェアウェル（両長官乗船 ICG 巡視船に敬礼）</p>

※ 写真が必要な方は、政策評価広報室（03-3591-9780）までご連絡下さい。